

	コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	613	畜産振興事務経費	会計	01	一般会計
			款	06	農林業費
			項	01	農業費
基本 施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	目	08	畜産業費
			細目	317	畜産振興事務経費
行革大綱の重点事項番号			6・7		
			細々目		
担当部課	コード	191200	担当者 氏 名	小林 康志	連絡先 43 - 2302 (内線) 335
	名 称	産業建設部農林振興課			

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)		畜産農家、銘柄牛「伊賀牛」		※対象件数
成果(どうする)		畜産農家の経営が安定化、銘柄牛の優良化		
根拠法令・要綱等				
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度		
H21 事業 内容	・家畜保健衛生対策 防疫推進のため予防接種の薬剤費に対し、牛0.15%、豚0.05%助成 ・銘柄牛「伊賀牛」販売促進 伊賀産肉牛生産振興協議会負担金等の支出 ・優良素牛を伊賀地域へ導入しやすいように1頭あたり4500円を助成した。			
社会情勢 の変化等	各種助成事業を平成22年度から本庁予算に統合した。			

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			目標	360	目標	360
	優良素牛導入頭数(補助対象のみ)	頭	実績	281	実績	473
			目標	4	目標	4
			実績	4	実績	5
	保険衛生対策実施農家(団体)	戸	目標	4	目標	4
			実績	4	実績	5
			目標	4	目標	4

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標	360	目標	360
	優良素牛導入頭数	導入数÷販売数なので導入頭数は畜産振興の指標となる	頭	実績	281	実績	473
				目標	4	目標	4
				実績	4	実績	5
	保健衛生対策実施農家(団体)数	主要な農家が衛生対策を実施することで食の安全安心指標となる	戸	目標	4	目標	4
				実績	4	実績	5
				目標	4	目標	4

		H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計 (A)		(千円) 2,003	(千円) 4,178	(千円) 4,179	(千円) 4,011
投入コスト Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,003	4,178	4,179	4,011
事業投入人件費 (B)		0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720
フルコスト(A)+(B)		2,723	4,898	4,899	4,731

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)			備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		口蹄疫の羅漢拡大で家畜衛生が重要視されている
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	○	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
達成度	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
効率性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達成度	当初設定した計画を	100%	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無	
達成度	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
	【事業名】		
	受益者負担を求めることができる事業である。		
	全体コストにおける負担構成は適正である。		
達成度	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	
改善策	本庁各支所の補助要綱を平成21年度から統一し、市内で均衡の取れた事業を推進している。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 計画とおり実施した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	服部 伊久夫
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】
	家畜保健衛生に対する取組は今後も必要である。地域間競争で勝ち残るためには、銘柄牛の育成は不可欠であり、今後も事業を維持する。
現時点における 課題、その他	銘柄牛「伊賀牛」のブランド推進、家畜衛生意識の向上、維持
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	関係団体が市内で統一化されたことに伴い、情報交換が容易になった。今年度は口蹄疫病の発生推移を見ながら関係機関との対応を協議する。